

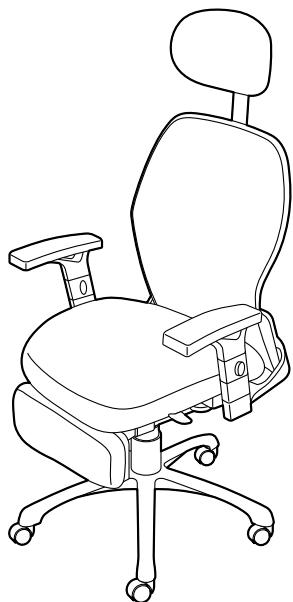
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

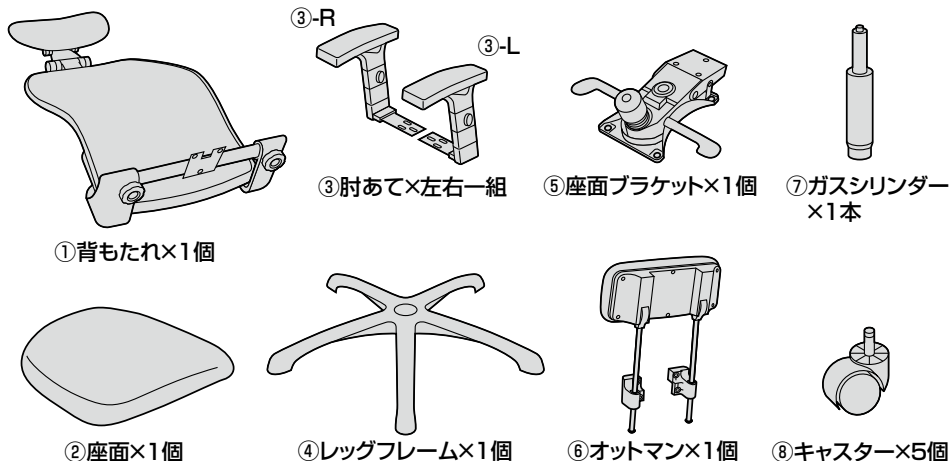
★用意していただくもの……

手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

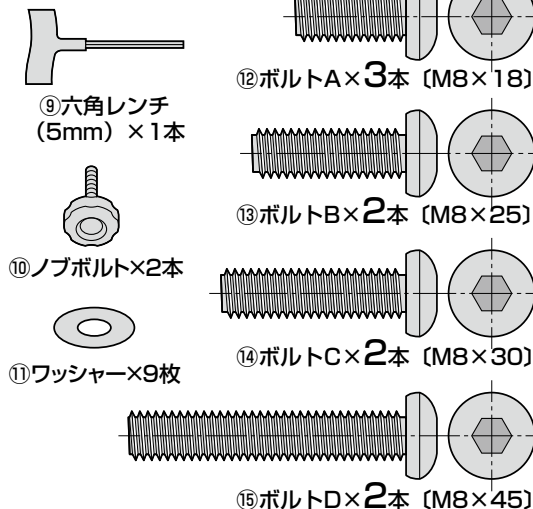


組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCM007など)と
下記の部品番号(①~⑮)と部品名(六角レンチなど)をお知らせください。



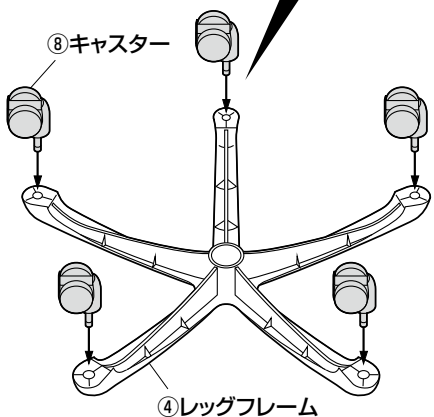
ボルトセット



1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。

▲注意▲

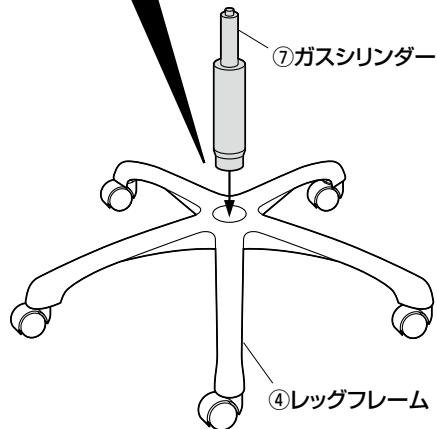
それぞれのキャスターは全て
圧入式です(手ではめこむ)。
奥まできちんと差し込んでください。



2 レッグフレームにガス
シリンダーを取付けます。

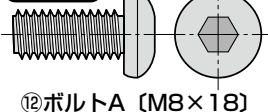
▲注意▲

ガスシリンダーが後で
抜けることのないよう
に、押し込みます。



3 背もたれに座面ブラケットを取付けます。

使用ボルト



▲注意▲

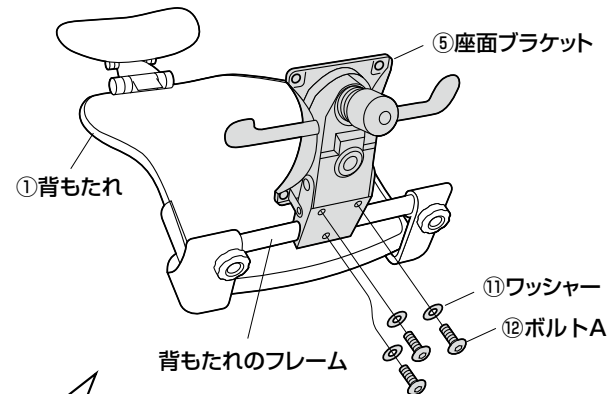
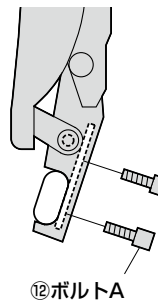
ボルトはしっかりと
最後まで締め込んで
ください。

横から見た図

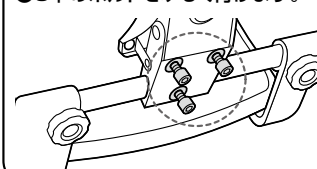
① 背もたれのフレームに
座面ブラケットを差し
込みます。



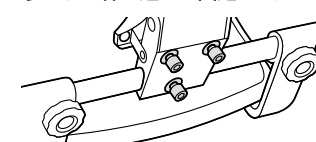
② ボルトで固定します。



① 3本のボルトをゆるく付けます。



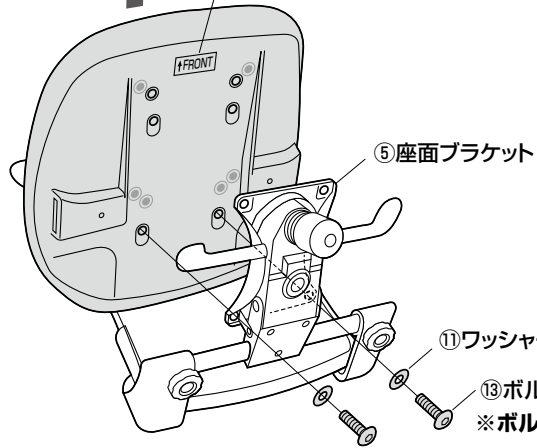
② すべてのボルトを均等に
少しずつ締め込んで固定します。



4 座面とオットマンを取付けます。

①座面ブラケットに座面を取付けます。

②座面裏面
※FRONTと書かれた方が前です。



使用ボルト

⑬ボルトB (M8×25)

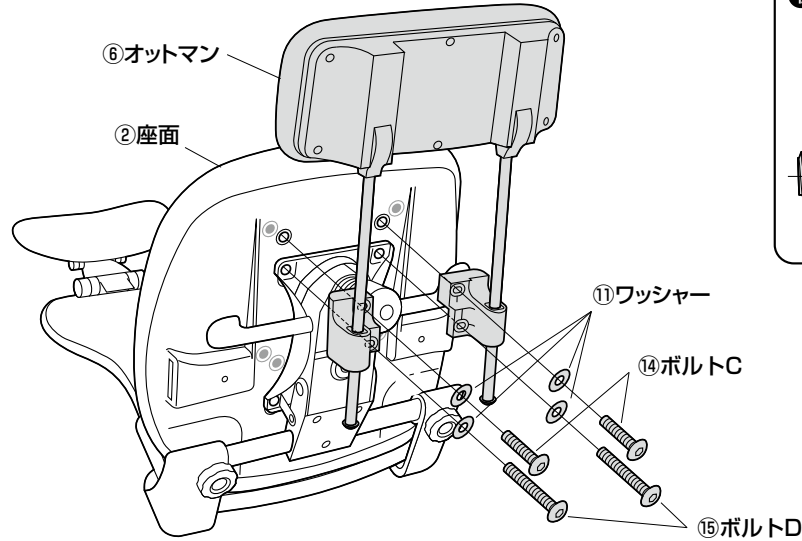
下から見た図

②座面裏面



※ボルトは緩めに付けておきます。

②オットマンを取付けます。



使用ボルト

⑭ボルトC (M8×30)

⑮ボルトD (M8×45)

※ボルトは緩めに付けておきます。

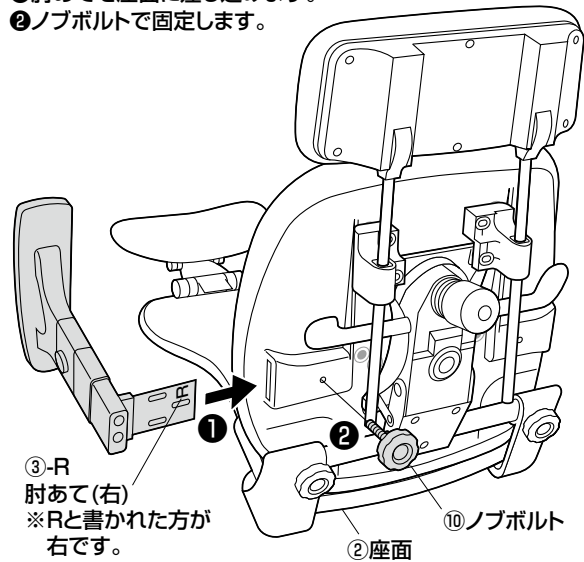
▲注意▲

緩めに付けておいたボルトを締め付けます。ボルトはしっかりと最後まで締め込んでください。

5 肘あてを取付けます。

①肘あてを座面に差し込みます。

②ノブボルトで固定します。



※同様に肘あて(左)も取付けます。

6 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで完成です。

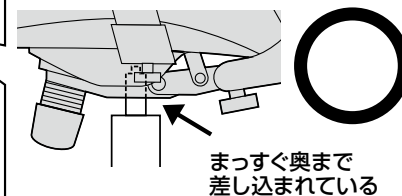
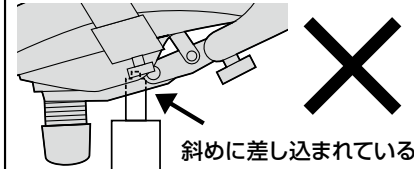
▲注意▲

可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。



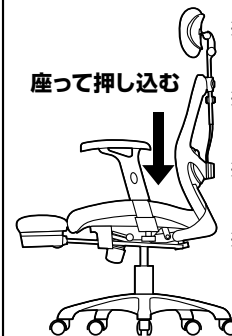
▲注意▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

オットマンの使用方法

▲ 注意 ▲ 可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。

<収納方法>

- ① オットマンを矢印の方向に押し込みます。
- ② オットマンをカチッと音が鳴るまで置きます。
- ③ オットマンを座面の下に収納します。
- ④ オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。
- ⑤ オットマンを矢印の方向に押し込みます。
- ⑥ オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。

<開き方>

- ① 座面の下からオットマンを引き出します。
- ② オットマンを矢印の方向に押し込みます。
- ③ オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。
- ④ オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。
- ⑤ オットマンを矢印の方向に押し込みます。
- ⑥ オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。

各部の調節方法

▲ 注意 ▲ レバーを回転させてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面プラケットを差し込み直してください。

- ① ボタンを押すとヘッドレストの高さを5段階で調節できます。
- ② ボタンを押すと肘あての高さを5段階で調節できます。
- ③ ボタンを押すとヘッドレストの角度を調節できます。
- ④ レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。
- ⑤ ノブボルトを緩めると肘あての左右位置を調節できます。
- ⑥ オットマンをカチッと音が鳴るまで起します。

▲ 注意 ▲ 可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

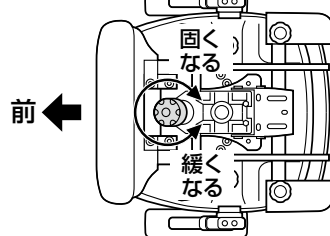
- 前に出す 後ろに下げる
- ③ 背もたれのツマミを回すとランバーサポートの前後位置を調節できます。

- 角度固定
- ④ レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

- ロッキング可能
- ⑤ ロッキング中にレバーを下方向に回転させると背もたれの角度を4段階で固定することができます。
※ロッキングさせた背もたれを元に戻す時は、再度荷重をかけてください。

下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

構造部材：座部・背もたれ部・オットマン部/スチール、ポリプロピレン
脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

製品に関するお問い合わせ
製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は右記までお気軽にご相談ください。

CB/AH/RK09C

サンワサプライ株式会社

サンワダイレクト / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-5680 FAX.086-235-2381